

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公表番号】特表2010-517014(P2010-517014A)

【公表日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2009-546386(P2009-546386)

【国際特許分類】

G 01 P 15/125 (2006.01)

H 01 L 29/84 (2006.01)

【F I】

G 01 P 15/125 Z

H 01 L 29/84 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月22日(2010.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

装置であって、

前記装置は微小電気機械システム(MEMS)センサを備え、前記センサは、

可動エレメントの第1の端部と第2の端部との間でオフセットされている回転軸に対して動くように適合され、前記回転軸と前記第1の端部との間に第1の区画を形成し、前記回転軸と前記第2の端部との間に第2の区画を形成する前記可動エレメントであって、前記第1の区画は、前記回転軸から、前記回転軸と前記第2の端部との間の前記第2の区画の長さにほぼ等しい距離だけ離間された延在部を含み、前記可動エレメントは、第1の表面および第2の表面を含む、前記可動エレメントと、

前記可動エレメントの前記第1の表面から離間され、第1のアクチュエーション電極および第1の感知電極を含む、第1の固定導電層と、

前記可動エレメントの前記第2の表面から離間され、第2のアクチュエーション電極および第2の感知電極を含む、第2の固定導電層と

を含み、前記第1および第2のアクチュエーション電極は、前記延在部と対向する、装置。

【請求項2】

微小電気機械システム(MEMS)センサであって、

可動エレメントの第1の端部と第2の端部との間でオフセットされている回転軸に対して動くように適合され、前記回転軸と前記第1の端部との間に第1の区画を形成し、前記回転軸と前記第2の端部との間に第2の区画を形成する前記可動エレメントであって、前記第1の区画は、前記回転軸から、前記回転軸と前記第2の端部との間の前記第2の区画の長さにほぼ等しい距離だけ離間された延在部を含み、前記可動エレメントは、第1の表面および第2の表面を含む、前記可動エレメントと、

前記可動エレメントの前記第1の表面から離間され、第1のアクチュエーション電極、第1の感知電極、および第3の感知電極を含む、第1の固定導電層と、

前記可動エレメントの前記第2の表面から離間され、第2のアクチュエーション電極、第2の感知電極、および第4の感知電極を含む、第2の固定導電層と、

を備え、前記第1および第2のアクチュエーション電極は、前記延在部と対向し、前記第1および第2の感知電極は、前記第1の区間と対向し、前記第3および第4の感知電極は、前記第2の区間と対向し、前記第1、第2、第3、および第4の感知電極のそれぞれは、前記可動エレメントの全表面積の25～35パーセントの範囲にある表面積を有する、センサ。